



書家・杭泊樹氏と舞妓「小扇」さんご参拝

<http://www.okunijinja.jp/>

師走 雑感

十一月は小さな子供たちが晴れ着を着けての七五三詣りがあり、菊花の前で記念撮影をしている姿が多く見られました。二十三日は新嘗祭を斎行いたし、四十八回目となる奉納農産物品評会が開催されました。

さて、近年、地域共同社会の加速度的な変容、また常識を身近に教える場である家庭の崩壊が進んでいるといわれています。このような状況下において、多くの氏子・崇敬者から正常化に向け神社に寄せられる期待の大きさを実感いたします。神社は地域の文化・伝統が凝縮されています。そんな観点から地域社会に多少なりとも役に立てばと思います。今、もつとも必要なことは歴史に学ぶことではないでしょうか。幸いにしてわが国の歴史には、先人が築いた精神文化があり、混迷した時には突破口となった多くの徳が生きています。よく言われることですが、日本人とはなにか。今まさにこのことについて正面から取組まなければならぬ時です。神社に関する人々の役割は殊のほか重いと自覚せねばなりません。幸い当社には様々な関係団体が組織されています。総代会・振興会・敬神婦人会・氏子青年会・舞楽保存会・崇敬会などがあります。因に振興会は今年で結成五十二年目であり、敬神婦人会は四十五年目となります。また、氏子青年会は三十周年の佳節を迎えました。各会は敬神の誠をつくすことが一義ではありますが、その活動を通じて地域社会に貢献することも重要な役割であると思います。

今年もあとわずか、師走の晦日には大祓式を斎行し年越しを迎えるわけですが、新しい年は大神様のご加護のもと厳しい世情を勇気をもって乗り越え、明るい一年となるよう祈らずにはいられません。何れに致しましても、崇敬者各位におかれましては、ご自愛の上よいお年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

幣饗料奉献祭斎行

平成十五年十月二十四日、畏くも天皇皇后両陛下におかれましては、第五十八回国民体育大会秋季大会御高覧のため、静岡県に行幸啓遊ばされました。その際、陛下の特別の思召により当社に幣饗料が御奉献されました。

同日、午後五時半より浜松グランドホテルに於いて幣饗料伝達式が行われ、翌二十五日には天皇皇后両陛下下行幸啓幣饗料奉献祭が厳粛に斎行されました。また、十一月五日には当社宮司が皇居に向き御礼記帳を致しました。

白山社社殿の改築

白山社は慶長五年（一六〇〇年）の「小國神社境内絵図」に記載される御神



白山社の新社殿

う新社殿が望まれます。

木である「大杉」の根元に「山の神」の社として祀られていたと言われ、明治以降は社寺上地令により境内地を失ったために末社「八王子社」を飯の宮としてお祀りされていましたが、昭和三十六年に大杉の西を境内地として定め、復興し今日に至りました。

然しながら復興より四十有余年を経て社殿が腐朽し、また山腹の斜面に鎮座するため崩土による土台の損傷もあり社殿改築は元より社地についても検討する必要にせまられておりました。

このたび、崩土の危険のない山裾に社地を移転し、参拝者の便に供するよう参道の整備を行ない社殿の改築を致しました。

宮川沿の遊歩道を歩まると木の香漂う新社殿が望まれます。

ジュピロ磐田・服部年宏選手の結婚式

十月五日、ジュピロ磐田所属のJリーガー（背番号六番）服部年宏選手とSBS静岡放送で平成六年から昨年まで活躍されたアナウンサーの上田朋子さんが神前にて結婚の式を挙げられました。御両家御親族の見守る中、新郎新婦は緊張感がただよう面持ちの中にも安らぎの表情をうかべ新たな旅立ちの誓いをされました。お二人揃って玉砂利の参道を進むにつれ、どこからともなく参拝者から「おめでとう」の祝福の声があふれました。

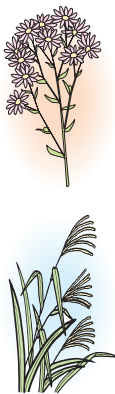
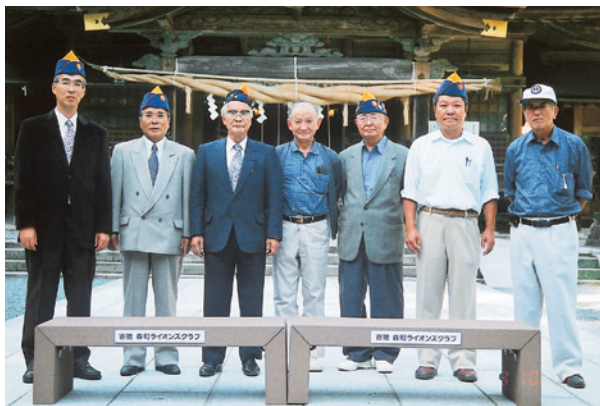
お二人の新しい門出を祝い、末永い御多幸と御活躍を祈念申し上げます。



森町ライオンズクラブ・ベンチの奉納

森町ライオンズクラブは結成四十周年を迎えられ、その記念事業の一環と致しまして森町内の観光拠点にベンチを寄贈されることとなり、当社にも二脚ご奉納いただきました。

早速境内に設置致しましたところ、ご参拝の皆様によくつくりと境内の自然や小鳥の囀り等をお楽しみいただける憩いの場として大変好評を得ております。



総代会視察研修旅行

小國神社総代会の研修旅行が、九月二日より四日にわたり総代二十四名参加のもと山陰方面へと実施されました。初日は、秋芳洞・秋芳台の見学後、長門湯本温泉での宿泊となりました。懇親会ではお忙しい中にもかかわらず神道政治連盟会長長崎義敬様に御臨席戴き、懇親を深めることができ、楽しい一時を過ごしました。

二日目は、萩焼の窯元の見学をし、一路津和野へと移動し、日本三大稲荷神社の一社とされる太鼓谷稲成神社では、角河宮様のお出迎えをうけ、お話を拝聴後正式参拝を行いました。



出雲大社正式参拝



太鼓谷稲成神社正式参拝

その後、玉造温泉へと向かいました。三日目には、早朝より、当社と同じ御祭神で本宮とされる出雲大社へ正式参拝を行いました。千家宮様のお出迎えをうけ、お話を拝聴し、境内、宝物館の御案内を戴きました。参拝後松江城を見学し、静岡へと帰省しました。三日間晴天が続く、残暑が厳しい中、総代全員体調を崩すことなく、終えることができました。

正式参拝に際しましては、出雲大社千家宮様、太鼓谷稲成神社角河宮様はじめ職員各位の心暖まるおもてなしを戴き、一同感謝をうけましたこと、改めまして心より感謝申し上げます。

古代の森シリーズ⑨

八王子社

八王子社は国土を守護する国狹穂尊、天照大御神と須佐之男命が誓約した時にお生まれになった五男神（天之忍穗耳命・天之菩卑能命・天津日子根命・活津日子根命・熊野久須毘命）と三女神（多岐理比売命・市寸嶋売命・多岐都比売命）をお祀りする境内末社の一社で、事待池の西に鎮まり、明治十五年の大火から唯一難を逃れたお社です。

当時、末社の多くが合祀されましたが、平成元年に三間社流造の合殿社が建立され五十四社が遷座されました。例祭は一月十七日に斎行され、本社
の御弓始祭に先立ち奉射神事が行われます。神事は的を事待池のほとりに設け、社殿前から宮司が五穀豊穰と疫神鎮送を祈り二手半（五本）射ります。正月に弓を射る神事は各地に伝わりますが、疫神鎮送を含む神事は当社の古い伝承によるものとされています。



円田地区有志による提灯の奉納

平成十五年九月十四日の秋篠宮同妃両殿下御参拝にあたり、氏子地域の円田地区の有志の皆様により、提灯並びに提灯台一对のご奉納を戴きました。提灯は高さ約一一〇cm、径四八cmの十六葉菊花紋の入ったもので、提灯台は、高さ約二五〇cm、横幅約一一六cm、柱約九cmの桧製の堂々たるものであります。御参拝の当日は、拝殿前両横に据え置かれ、桧の香りも高く賑々しくも厳肅のうちに両殿下をお迎えすることができました。

この秋の新嘗祭より当社の大祭（例祭・祈年祭・新嘗祭）に合わせて、拝殿前に設置し御神徳宣揚に供することとなりました。ここに改めまして深く感謝の意を表する次第であります。



菊花展の開催

十一月一日より十六日の間、第四十四回森町菊盛会主催による菊花の展示会が中日新聞東海本社後援のもと開催されました。本年は三〇〇鉢もの出展をいただき、拝殿前や参道沿いを薫芳しくいろどってくれました。お参りの方々も足を停めて感嘆の声をあげていました。代表の山本喜重氏を始めとする皆様の真心こもった手入れの賜物であります。

古来より菊は、邪気を払い延命長寿を願うと共にその姿の気高いところから多くの和歌等にも詠まれています。

もしもしきに移ろひわたる菊の花に
ほひぞまさる万世の秋 聖武天皇御製
心あてに折らばや折らん はつしも
の置きまどはせるしらぎくの花

凡河内躬恒



小國神社賞・鈴木 智 氏

駅伝森町代表団 必勝祈願

秋も深まりスポーツも盛んに行われておりますが、東海道四〇〇年祭を契機として開催されてより第四回目を迎えます。静岡県市町村対抗駅伝競争大会に出場される森町チームの監督・コーチを始め代表選手の方々が、十一月八日当社にて必勝祈願のご祈禱をされました。

その後、「もりもり二万人まつり」の特設ステージに会場を移し壮行会が行われ、その中で当社で調製致しました必勝だるまを宮司より監督へ贈呈いたしました。

十二月六日の大会当日は森町民の大きな声援を期待しますとともに、選手の方々には好成績をあげていただきたいのは基より、県内他地域との交流を深めて、さらに森町の素晴らしさを伝えていただきたいと思えます。

チームとして、また個人個人目標があるとありますが日頃の練習の成果を十二分に発揮して、力強くもさわやかな走りを期待しています。



新しい初詣のポスターの紹介

毎年正月には多くの方が初詣にご参拝いただきますようにと、神社境内を始め県内外に掲出しておりますポスターを新しくいたしましたのでご紹介します。

古代の森として皆様に親しまれている境内を上空から撮った写真で「豊かな緑に包まれた自然の中にご鎮座する小國神社」を実感していただければと思います。

また、社名の文字は第一鳥居の扁額と同じものを活用しました。

静寂の中、心新たに...

初詣

古代の森
遠江國 一宮 小國神社

厄除け大祭

1月	26・27・28 29・30・31日
2月	1・2・3日

小國神社 ☎(0538)89-7302 / 森町観光協会 ☎(0538)85-2111(代)

JR東海 静岡支社 No.15-042



まつり歳時記

十二月〜三月

十二月 師走

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 甲子祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 滝宮社例祭 (午前十時)
- 十八日 初穂献納祭 (午前十一時半)
- 二十一日 鎮火祭 (午後三時)
- 二十三日 天長節祭 (午前九時)
- 二十五日 煤払祭 (午後一時)
- 三十一日 大祓式・除夜祭 (午後三時)

一月 睦月

- 一日 初祈禱祭 (午前零時)
- 一日 歳旦祭 (午前二時)
- 二日 日供始祭 (午前八時)
- 三日 元始祭・追儺祭 (午前八時)
- 三日 田遊祭 (午後一時)
- 六日 本宮山例祭 (午前十時)
- 七日 神明宮参拜 (午前八時半)
- 十一日 寒の丑日水汲祭 (午前二時)
- 十一日 手鋸始祭 (午前九時)
- 十七日 八王子社例祭 (午前九時)
- 十七日 御弓始祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 どんど焼祭 (午前九時半)

二月 如月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 節分祭世話人祈禱祭 (午前十一時)
- 三日 節分祭 (午後二時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十一日 紀元節祭 (午前十時半)
- 十五日 初甲子祭 (午前九時)
- 十五日 宗像社・飯子社・白山社例祭 (午後一時)
- 十五日 塩井神社例祭 (午後二時)
- 十八日 祈年祭 (午前十時)

三月 弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
 - 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
 - 十七日 真田城跡慰霊祭 (午前十時半)
 - 十七日 鉾執社例祭 (午後一時半)
 - 十八日 月次祭 (午前九時)
 - 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 〔例祭日程のお知らせ〕
- 四月 十七日 前日祭 (午前十一時)
 - 十七日 舞楽奉奏 (午後二時)
 - 十八日 例祭 (午前十時)
 - 十八日 神幸祭 (午後二時)
 - 十八日 舞楽奉奏 (午前十一時)

命 名

平成十五年七月一日
〜平成十五年十月三十一日

中島 一成	森 町	笹原 龍輝	浜北市	岩崎 愁	袋井市
川隅 洋輝	袋井市	藤田 百夏	袋井市	溝口菜々美	大東町
深田 健斗	森 町	森 真菜佳	袋井市	小坂 蓮人	袋井市
雪嶋 萌絵	浜松市	近藤 大介	掛川市	大石 和樹	天竜市
中山 凜	袋井市	加藤 万葉	埼玉県	山本真之介	大須賀町
鈴木 一葉	小笠町	玉井 裕己	福田町	松下 友音	磐田市
高氏 優	浜松市	鈴木 藍	袋井市	井上 瑞稀	東京都
泉 綾南	浜松市	早川 愛美	浜松市	木野 佑香	浅羽町
相澤亜瑞菜	大東町	大城 侑加	浜北市	鈴木 翔	袋井市
岡部 聖	浜松市	金原 陸斗	袋井市	杉山明日香	森 町
戸塚 皓翔	袋井市	小池 翔大	福田町	岩本 栞奈	豊田町
鈴木 悠斗	磐田市	鶴田 柚貴	富士宮市	青木 大知	豊田町
百鬼 大翔	袋井市	早馬 凜	掛川市	鈴木 涼太	袋井市
小沼 侑生	掛川市	三浦 歩夢	磐田市	太田 千尋	浜岡町
吉田 莉子	掛川市	大場 千結	袋井市	松浦 和奏	掛川市
武藏島壮樹	森 町	横山浩太郎	菊川市		
染谷 脩斗	東京都	安藤 大空	森 町		

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

新職員抱負



巫女 山本加奈子

小國神社に入社して六ヶ月が経ちました。入社当時は、何もかも初めての経験で分からない事がたくさんあり不安ばかりでした。先輩方が優しくご指導下さり、少しずつ仕事にも慣れてまいりました。しかし、まだまだだ勉強が足りず職員の方々に迷惑ばかり掛けておりますが、自分なりに一生懸命頑張っております。少しでも早く先輩方に追いつくよう一杯頑張りたく思います。宜しくお願い致します。



平成14年 入選 〈斜陽の森・鈴木 光男 氏〉



「秋の写真コンテスト」開催

本年も秋をテーマにした写真コンテストを開催します。応募作品は昨年同様、今年の紅葉・祭事・もみじまつりの風景全般になります。紅葉狩りなどのスナップ写真も審査の対象になります。

最優秀賞 (一名)	賞金・賞状・富士フィルム賞
優秀賞 (二名)	賞金・賞状・富士フィルム賞
特別賞 (一名)	小國神社宮司賞・賞金・賞状 富士フィルム賞
入選 (十名)	賞状・副賞(一品) 富士フィルム賞

すでにお気軽にご応募ください。応募作品は四ツ切・ワイド四ツ切で裏面に指定の応募票を必ず貼付して写真コンテスト係までお送りください。

締切 十二月二十五日必着
審査 写真コンテスト実行委員会
富士写真フィルム(株)
発表 平成十六年二月中旬
詳しくは、写真コンテスト係までお問い合わせ下さい。

一平成16年 厄年表一

男	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和20年 60才	昭和19年 61才	昭和18年 62才
性	昭和39年 41才	昭和38年 42才	昭和37年 43才
	昭和56年 24才	昭和55年 25才	昭和54年 26才
女	前 厄	本 厄	後 厄
	昭和44年 36才	昭和43年 37才	昭和42年 38才
性	昭和48年 32才	昭和47年 33才	昭和46年 34才
	昭和62年 18才	昭和61年 19才	昭和60年 20才

厄除大祭のご案内

人生の節目の年に当たる厄年は、健康、仕事、私生活などあらゆる面で難にあいやすい年頃といわれ、無事を願う気持ちは昔も今も変わりません。小國神社では一月二十六日より二日三日まで厄除大祭を執り行います。本年厄年に当たる方は、「厄除」のご祈禱をお受けになり、健やかな日々の生活をお過ごしください。

○祈禱料 五、〇〇〇円より
○厄除大祭札及び御守を授与致します。
○祈禱受付 午前九時～午後四時



参拝記念に新銘菓誕生

売店にて販売中「社^{もり}のめぐみ」(8個入り・850円)

師走の大祓

今年も残すところあとわずかととなり、慌ただしい毎日をお過ごしではないでしょうか。

新年をむかえるにあたりやり残していることや新しくすること、ことにお家の掃除なども大変なことかと思えます。

同じように心の中もこの一年を振り返り、一掃して新たな気持ちで清々しく新年を迎えたいものです。

当社では古来より、心身ともに祓い清め新たな姿に立ち返る神事が行われ



てきました。これを大祓といい、年に二度（六月と十二月の晦日）行われます。この神事は身代わりとなる人形に自身の不浄なものを移し、正常になることを願い、川に流して清めます。十二月三十一日午後三時より大祓式を斎行致しますので、ご参列いただければお祓いを致します。尚、人形は社頭にておわけ致しておりますので、ご希望の方は小國神社社務所までお問い合わせください。

小國神社社務所
TEL053818917302
FAX053818917367



新春祈禱のご案内

来る平成十六年の新春も商売繁盛、交通安全、職場安全等のご祈禱をご奉仕致します。当日の受付は混雑が予想されるため、当社では年内の予約受付を致しておりますのでご利用ください。尚、家内安全、厄除等の一般祈禱は当日受付にて毎日ご奉仕致しております。ご家族、皆様お揃いでご参拝くださいますようお願い申し上げます。



- 一、予約対象 会社及び個人事業者
- 一、申込方法 電話またはFAX等にて申し受けます。
- 一、申込期間 十二月二十五日頃まで。
- 一、ご相談、ご不明の点がありましたら、左記までお問い合わせください。

小國神社 新春予約祈禱係
TEL053818917302
FAX053818917367



「小國の杜・点描」

柿 (かき)

◀カキノキ科カキノキ属 落葉高木
日本の代表的な果木の一つで、神社に植えられているのは洪柿でありますが、甘柿では森町に原木のある次郎柿がよく知られています。実をもく時は「木守柿」といって一つは木に残すものと伝えられ、神様へのお供え物・野鳥や環境への思いやり・新しい命の増殖の意が込められているといえます。山菜採りや御飯の御代わりの際も同様の事がいわれています。

片檜葉 (かたひば)

◀シダ類イワヒバ科
鱗片状の葉が密につき、ヒノキ科の葉、



柿



片檜葉

とりわけヒバ(アスナロ)に似ていることからの命名といわれます。岩や木の上などに生え五〜三〇cmほどの高さになります。片檜葉は、岩檜葉が多くの枝を四方にひろげ樹状にみえるのに対しての名称前で、姫檜葉・女檜葉・黄金菌朶との別称もあります。

芙蓉 (ふよう)

◀アオイ科フヨウ属 落葉低木
夏から秋に径一〇cmほどの花を咲かせます。花は朝開き夕方にはしほみ、繊細な美・しとやかな恋人という花言葉があります。芙蓉の顔“は清楚な美女のたとえ、芙蓉峰“といえは霊峰富士山を称える呼び名です。



芙蓉

柵 (なぎ)

◀マキ科マキ属 常緑高木
材は緻密で堅く床柱や家具などに用いられます。葉は引つ張つてもなかなか切れなことから千人引・力柴・弁慶葉とも呼ばれ、良縁の切れないお守りや悪鬼をさげ災難を免れると伝えられます。また、風に通じることから海上安全・晴天を祈る縁起木といわれます。森町天宮の天宮神社(古くは小國神社の摂社でした)の柵は県の天然記念物に指定されています。



柵

巫女さんの想い

今年、例年に比べ暖かな冬になりましたが、紅葉が色づくにつれて、寒さも深まり、今年も残すところ後わずかだと実感いたします。
年末になって、お正月の準備も本格的になり、忙しい毎日を送っています。お正月にお越しになるご参拝の皆様、清々しい新年を迎えて頂きますように諸準備等をさらにながらばりたいと思います。(〇)

編集 後記

〇「玉垂」第九号をお届け致します。今号には秋篠宮同妃両殿下御参拝記念集を同時にご報告させて頂きました。社内はつがなにご参拝を遊ばされたことで、安堵の気持ちでいっぱいです。
〇紅葉の時期になりますと毎日多くの問い合わせの電話があり、その対応が忙しくなります。今年も暖冬の影響で色づきが一週間から十日程おくれました。新聞紙上等でいわれる地球の温暖化が実際に進んでいる証でしょうか。

表紙写真について

平成十五年十月二十六日(日)午後四時、森町ライオンズクラブC.N四十周年記念大会にあたり来森しておりました町内出身の日展審査員・杭迫栢樹氏と京都の舞妓「小扇」さんとともに、拜殿前にて撮影いたしました。

平成十五年十二月一日
「玉垂」(たまたれ) 第九号
題字揮毫 神社本廳総長 工藤 伊豆
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三三七―〇三二六
住所 静岡県智都郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
FAX 〇五三八(八九) 七三六七
印刷 (株)サインオフィス エム・エス・シー